

株式会社 D-1 DX宣言書

2026年7月31日
株式会社 D-1
代表取締役社長 淡路 忠利

□ 経営理念

我社は高い施工技術により信用と実績を重ね安全第一を必須に当社の発展と未来社会に貢献する

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ 社員一人ひとりの声に耳を傾け、より安心して働ける職場環境を整備することで、自ら学び、成長し続けられる組織づくりを進めます
- ◆ 現場技術者とバックオフィスの情報連携や業務の標準化、データ活用を推進することで、業務効率化と社員のスキル向上を実現し、組織全体の持続的な成長に繋がります

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ～ 2027年6月)

戦略 「働きやすい職場環境と業務基盤の整備によるDX推進の土台を構築」

- 施策
- ・ 社員の声を収集し、課題解決や業務効率化に反映する体制を整えることで、主体的に意見を出せる風土を醸成し、働きやすい職場環境を整備
 - ・ 建設ディレクター等の資格取得を推進し、ITと建設の知識を兼ね備えた人材を育成
 - ・ 業務プロセスを一元化を図るため、勤怠管理システムを導入し、給与計算システムとの連携に向けた基盤を整備
 - ・ 日報・歩掛情報を電子化し、情報共有およびデータ活用を進めることで、原価管理・工程管理の精度を向上
 - ・ 社内の情報連携強化に向け、スマホやタブレット端末の導入・活用を推進

➤ フェーズ2(2027年7月 ～ 2028年6月)

戦略 「業務の標準化とデータ活用による情報共有基盤の構築」

- 施策
- ・ ICT施工やデジタルツールを活用した効率的な案件推進体制を構築
 - ・ 過去の案件・見積データを電子化し、検索しやすいデータ共有基盤を構築することで、現場とバックオフィスの業務の標準化(マニュアル化)を推進
 - ・ 進行中案件の情報をExcelからクラウドツールへ移行し、案件情報の一元管理を実現
 - ・ 各案件のスケジュールおよび日報データ等をクラウドツールで統合管理することで、タイムリーな情報共有と管理精度の向上を実現
 - ・ フェーズ1で構築した社員の声を収集する体制を、AIやツールを活用したデジタル目安箱等のコミュニケーション基盤として仕組化

➤ フェーズ3(2028年7月 ～ 2029年6月)

戦略 「データ活用の高度化と組織運営の最適化」

- 施策
- ・ フェーズ2で構築したデータ基盤を活用し、見積作成精度の向上や業務判断の高度化を実現
 - ・ 請求書管理システムを導入し、経理業務の負担を軽減
 - ・ 社員のスキルや適性等に関する情報を一元的に整理・蓄積するとともに、人材評価や育成基準を整備し、適材適所の配置と計画的な人材育成を推進

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役社長がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ 社員全員がDX推進に参加し、社内一丸となった取り組みを行います

□ DX推進目標

- ・ 勤怠管理システム稼働 : 開始(2026年10月～)
- ・ 日報電子化 : 完了(～2027年6月)
- ・ 建設ディレクター取得者 : 2025年度比 1名増加(～2026年12月)